

2009年6月29日

高校生の進路選択に関する調査

～「進学センサス 2009」より～

株式会社リクルート(本社:東京都千代田区 代表取締役社長 兼 CEO: 柏木 齊)では、高校生の進路選択の現状を明らかにするため、進路選択行動の時期やプロセス、進路選択に際しての意識などについての調査を実施いたしました。この度調査結果がまとまりましたので、一部を抜粋してご報告申し上げます。

■大学進学者の出願校数は「1校」と「5校以上」が多く依然二極化の傾向

- (P.3) ・大学入試の出願校数は「1校」(35.1%)に次いで「5校以上」(25.1%)
出願校数平均は 2.99 校(2007 年)から 3.16 校(2009 年)へ増加

大学、短大、専門学校進学者ともに出願校数が増加。
大学進学者では、「5校以上」(25.1%)が引き続き増加しているのに対し、推薦入試などの受験者が主流の「1校」は減少したものの 35.1%と依然高い比率で存在している。

■オープンキャンパスの参加率が 10 年前に比べ 25.8 ポイント増 2 年前の前回調査よりも 7.0 ポイント増で約 9 割に

- (P.5・P.6) ・オープンキャンパスへの参加率・参加回数が大幅増
1999 年と比べ、大学進学者(56.0%→90.1%)や男子(48.7%→81.5%)の
参加率の上昇が全体を押し上げている

オープンキャンパス・学校見学会に参加した高校生は 87.6%で 10 年前に比べ 25.8 ポイント増。
学年別では、1 年生は 22.9%、2 年生は 52.6%、3 年生は 75.7%が参加したと回答。参加理由として「自分で行きたいと思ったから」(86.3%)がトップ。一方、「学校の先生に行くように言われたから」(33.5%)、「学校の宿題や授業・行事だったから」(28.0%)など学事として利用されている様子もうかがえる。

- (P.8) ・「知りたかったこと」のトップは、大学進学者は「キャンパスの雰囲気」
専門学校進学者は「学校で勉強できる内容」

「知りたかったこと」のトップに、大学進学者、短大進学者は共に「キャンパスの雰囲気」(大学進学者 75.2% 短大進学者 77.5%)、専門学校進学者は「学校で勉強できる内容」(73.4%)があげられている。

「よかったところ」として大学進学者は「キャンパスを見られたこと」(86.8%)が突出して高い。一方、専門学校進学者は「施設・設備を見られたこと」(66.2%)、「実習室や教室を見られたこと」(64.5%)に続いて、「体験実習」(62.5%)、「先生の話・対応」(59.3%)があげられており、専門学校が高校生に対してよりきめ細かい対応をしている様子うかがえる。

【本件に関するお問い合わせ先】

https://www.recruit.jp/support/inquiry_press.html

【調査概要】

■調査目的

－高校卒業生に対し、その進路先および決定に至るまでの状況を聴取することにより、高校生の進路選択プロセス(行動・意識)を把握する。

■調査方法

－質問紙による郵送法

■調査対象

－2009年3月高校卒業の男女 37,381人
 ー在籍高校所在地は1都2府5県
 ーリクルート進学情報サービス会員(注)より平成20年学校基本調査の「全日制・本科3学年生徒数(県別・男女別)」を元に抽出

■調査期間

－2009年3月19日(木)～4月8日(水)投函締切

■有効回答数

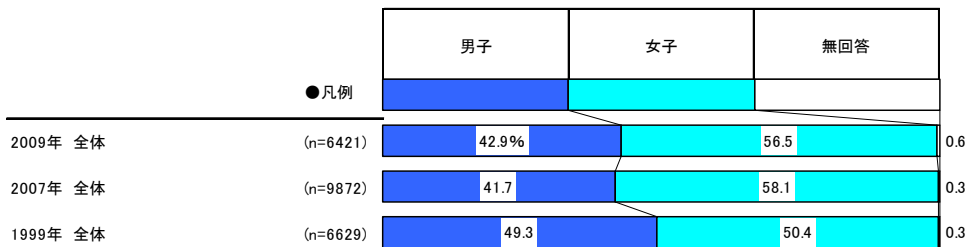
	調査対象数	有効回答数	有効回答率
2009年	37,381	6,421	17.2%
2007年	50,000	9,872	19.7%
1999年	40,000	6,629	16.6%

※本文中で使用している時系列データの調査方法は本調査と同様。ただし1999年はデータの割付方法が一部異なる。

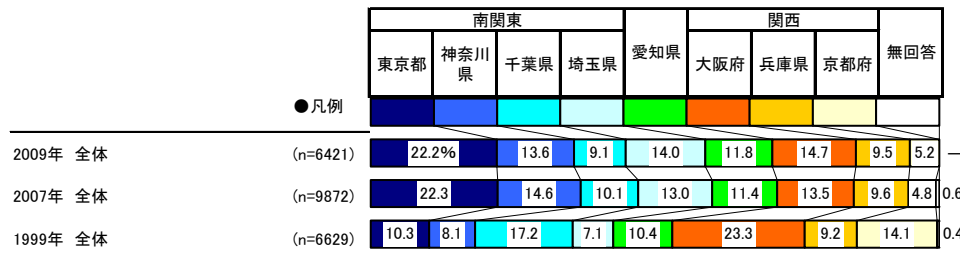
(注)リクルート進学情報サービス会員とは株式会社リクルートが発行する進学情報誌「リクルート進学ブック」および大学・短大・専門学校の学校情報やオープンキャンパスに関する情報を提供する「リクルート進学ネット」(<http://shingakunet.com/>)の会員のこと

【回答者プロフィール】

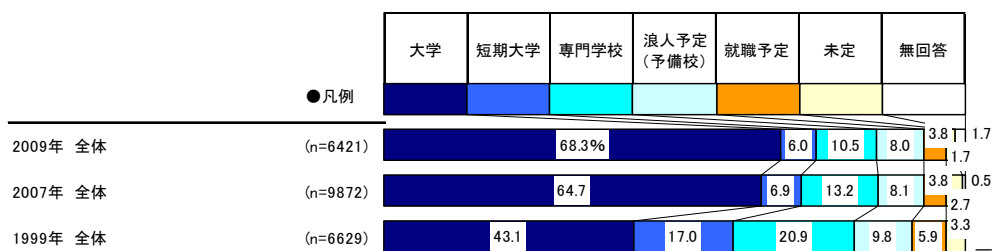
■性別(全体/単一回答)



■高校所在エリア(全体/単一回答)



■高校卒業後の進路(全体/単一回答)



【進学者の出願状況】

出願校数が、2年前に比べ増加

大学、短大、専門学校進学者ともに、出願校数が増加している。

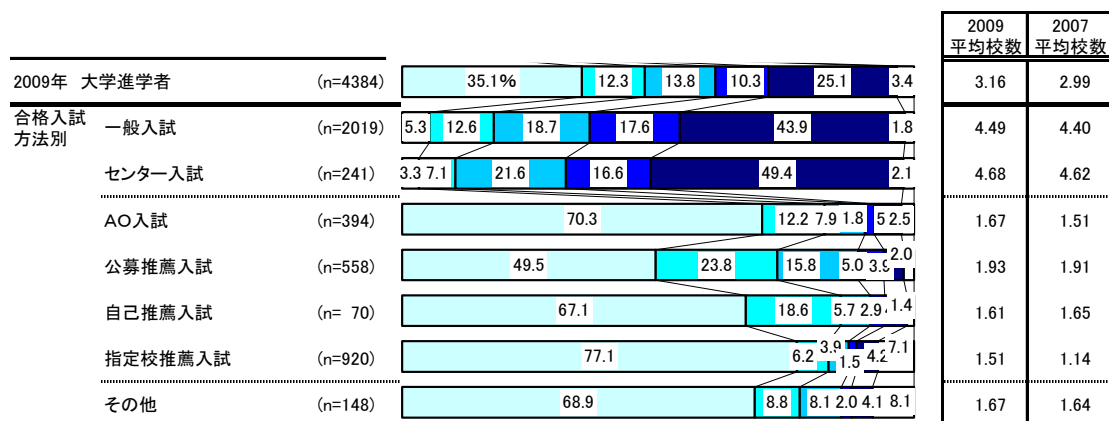
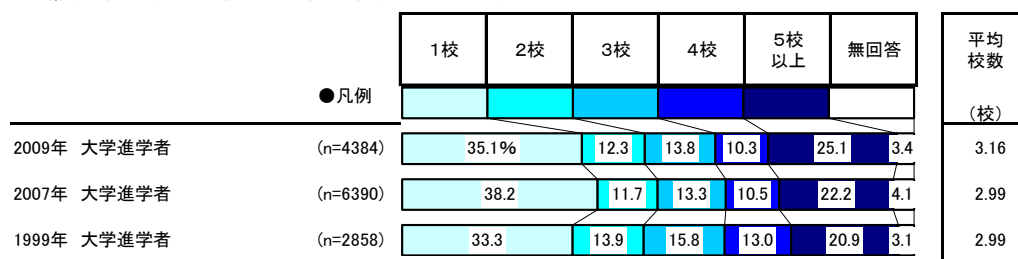
大学進学者の出願校数の内訳を見ると、「5校以上」が引き続き増加しているのに対し、「1校」が減少していることがわかる。合格入試方法別でもほとんどの平均出願数が増加している。

■最終進路別 出願状況

	調査年	調査数	大学に対する	大学のみ
			出願 (校)※	出願
大学進学者	2009年	4384	3.16	93.3%
	2007年	6390	2.99	93.1%
	1999年	2858	2.99	
短大進学者	2009年	388	1.28	68.0%
	2007年	685	1.21	74.0%
	1999年	1130	1.41	
専門学校進学者	2009年	676	1.34	79.7%
	2007年	1307	1.18	84.8%
	1999年	1384	1.29	

※表は1校以上回答した人の平均をあらわしている

■出願校数分布<大学>(大学進学者/単一回答)

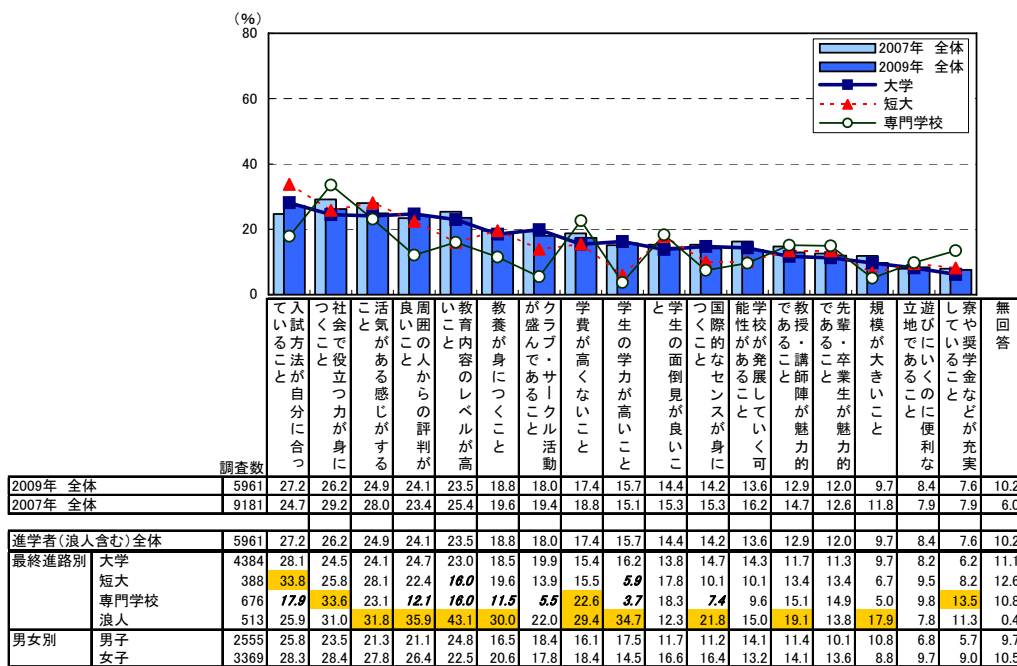
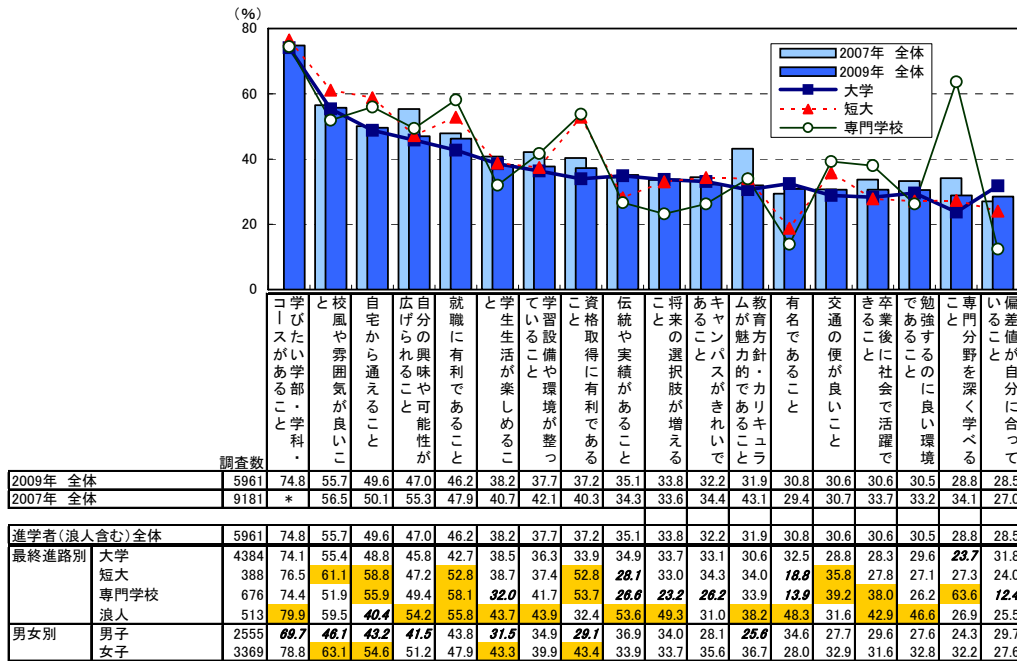


【志望校検討時の重視項目】

志望校を検討する際の重視項目の1位は「学びたい学部・学科・コースがあること」
次いで「校風や雰囲気が良いこと」、「自宅から通えること」

最終進路別では、「学びたい学部・学科・コースがあること」(大学進学者 74.1% 短大進学者 76.5% 専門学校進学者 74.4%)が共通して1位。以下、大学進学者は「校風や雰囲気が良いこと」(55.4%)、「自宅から通えること」(48.8%)が続くのに対し、専門学校進学者は「専門分野を深く学べること」(63.6%)、「就職に有利であること」(58.1%)であった。また、学費や奨学金といったお金に関する項目も大学進学者に比べ高くなっている。

■志望校検討時の重視項目(進学者(浪人含む)/複数回答)



※「進学者(浪人含む)全体」より5ポイント以上高い
※「進学者(浪人含む)全体」より5ポイント以上低い
※「*」は該当選択肢なし

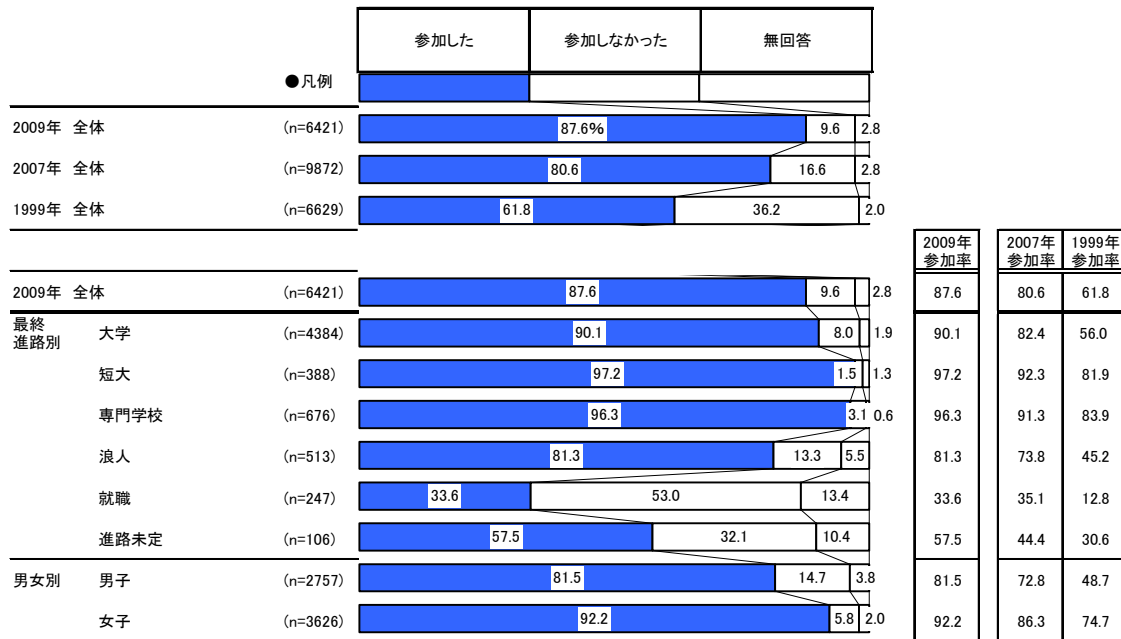
【オープンキャンパスへの参加状況(全体)】

約9割がオープンキャンパス・学校見学会に参加

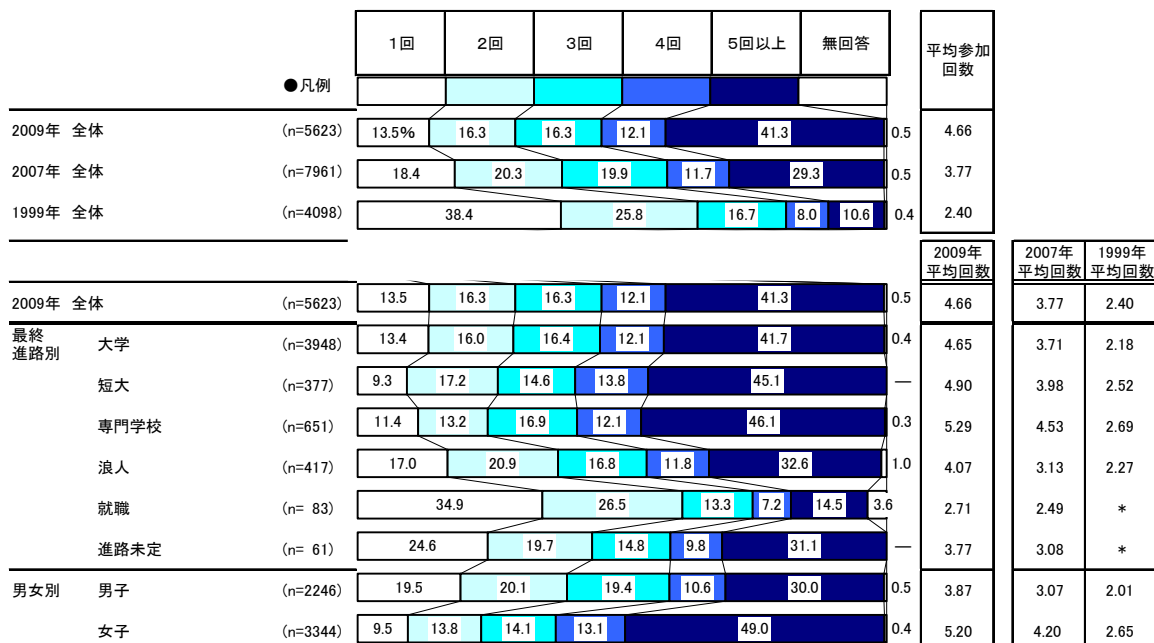
平均参加回数は4.66回で、参加率・参加回数とも増加している

オープンキャンパス・学校見学会に参加した高校生は87.6%で10年前に比べ25.8ポイント増加。特に男子が参加する(48.7%→81.5%)ようになったことが参加率を押し上げている要因と考えられる。一方、もともと参加率の高かった女子は参加回数の増加が特徴的で、5回以上の参加が約半数と、何度も学校を訪れる姿が見受けられる。

■オープンキャンパス・学校見学会参加経験 高校3年間TOTAL(全体/複数回答)



■オープンキャンパス・学校見学会参加回数 高校3年間TOTAL(オープンキャンパス・学校見学会参加者/単一回答)



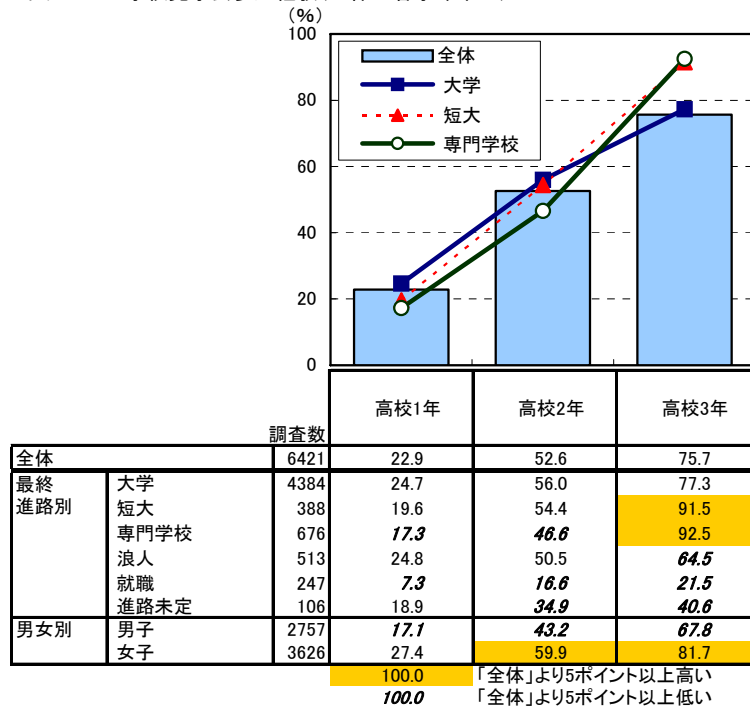
【オープンキャンパスへの参加状況(学年別)】

1年生は22.9%、2年生は52.6%、3年生は75.7%が参加

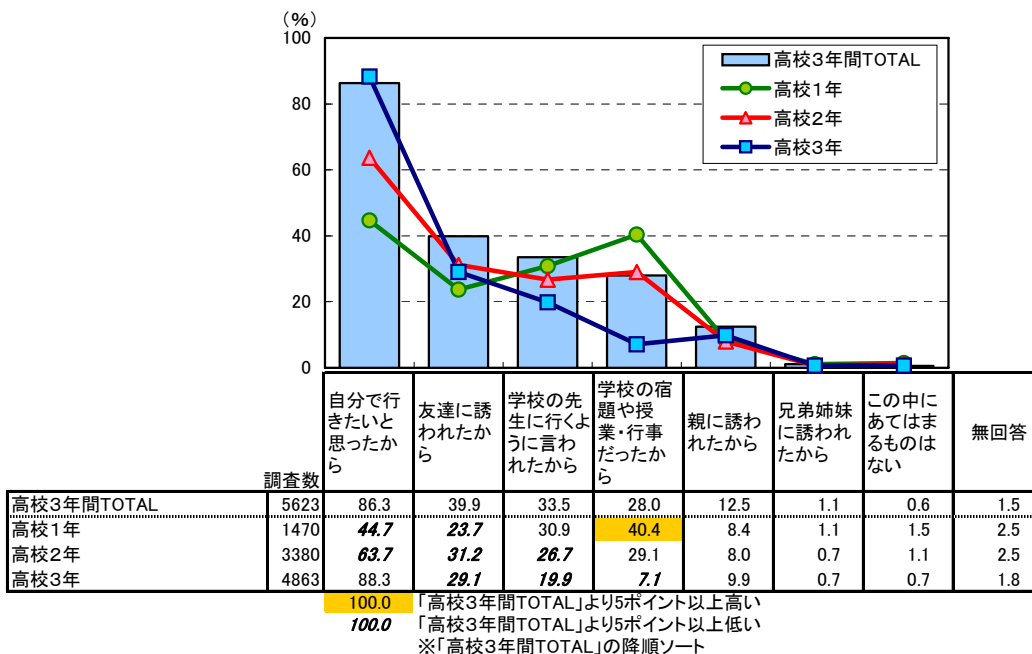
1、2年生までは大学進学者の参加率が高いが、3年生になると、短大や専門学校進学者の参加率の方が高くなっている。

参加理由をみると、「自分で行きたいと思ったから」(86.3%)がトップだが、「学校の先生に行くように言われたから」(33.5%)、「学校の宿題や授業・行事だったから」(28.0%)など学事として利用されている様子もうかがえる。特に1年生では参加者の約4割が「宿題や授業・行事」を理由にあげている。

■学年ごとのオープンキャンパス・学校見学会参加経験(全体/各学年単一)



■学年ごとのオープンキャンパス・学校見学会参加理由の違い(オープンキャンパス・学校見学会参加者/複数回答)

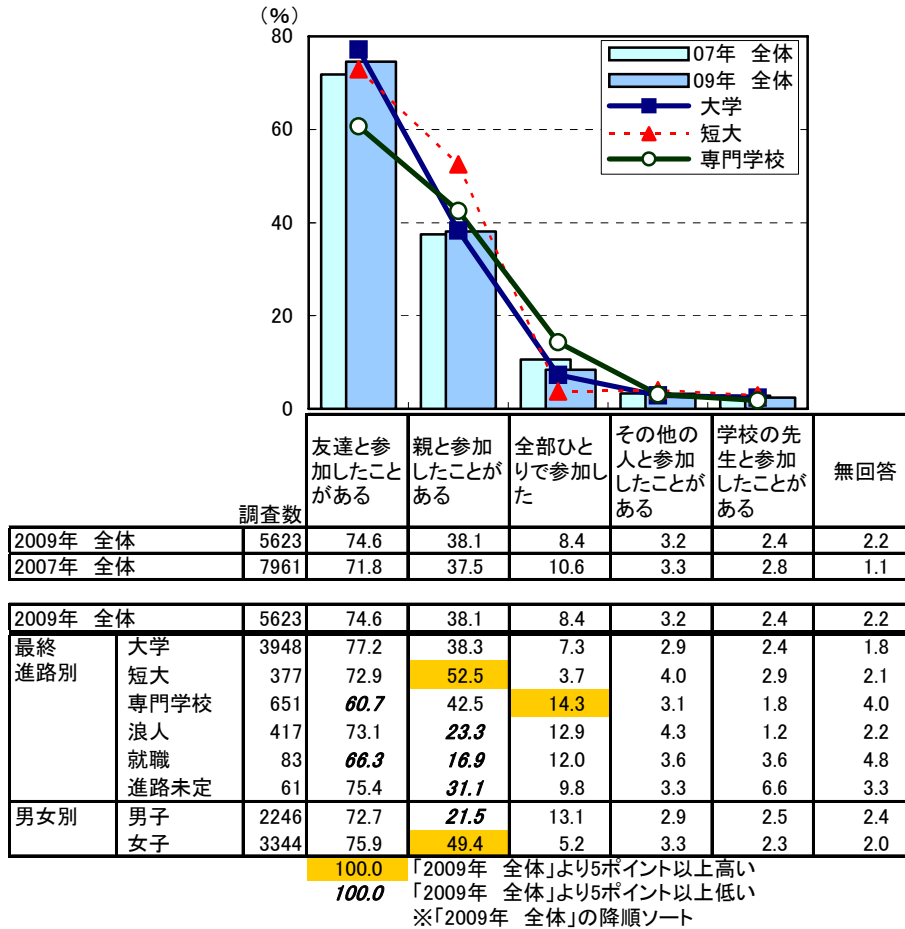


【オープンキャンパス・学校見学会の同伴者】

7割超が「友達と参加したことがある」

「友達と参加したことがある」のは 74.6%、「親と参加したことがある」のは 38.1%。一方、「全部ひとりで参加した」のは 8.4%。女子は 49.4%が親と参加している。

■学年ごとのオープンキャンパス・学校見学会同伴者(オープンキャンパス・学校見学会参加者/複数回答)



【オープンキャンパス・学校見学会への評価】

知りたかったことのトップは、

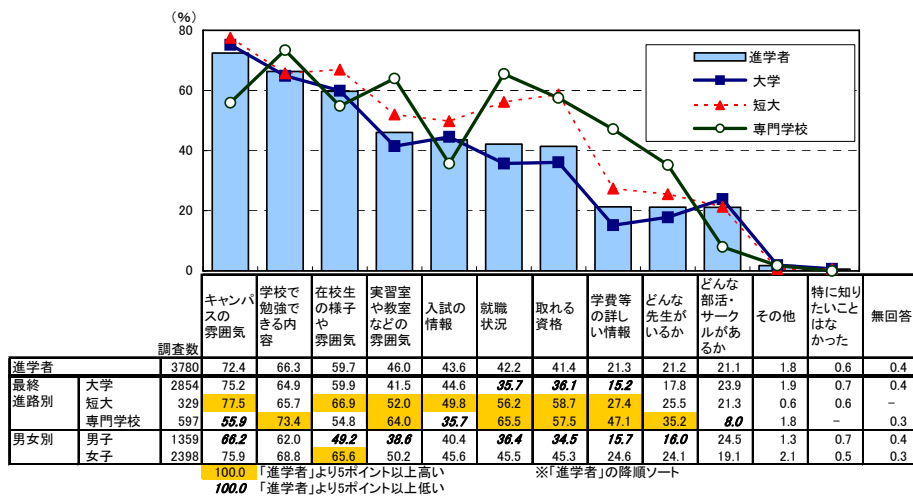
大学進学者は「キャンパスの雰囲気」、専門学校進学者は「学校で勉強できる内容」

「知りたかったこと」のトップに、大学進学者、短大進学者は共に「キャンパスの雰囲気」(大学進学者 75.2% 短大進学者 77.5%)、専門学校進学者は「学校で勉強できる内容」(73.4%)があげられている。

よかったところとして、大学進学者は「キャンパスを見られたこと」(86.8%)が突出して高い。専門学校進学者は「施設・設備を見られたこと」(66.2%)、「実習室や教室を見られたこと」(64.5%)に続いて、「体験実習」(62.5%)、「先生の話・対応」(59.3%)があげられており、専門学校が高校生に対してよりきめ細かい対応をしている様子がうかがえる。

男女別では、「知りたかったこと」「よかったところ」とともに概ね女子の割合が高くなっているが、「在校生」に関する項目で差が特に大きかった。

■進学先校 オープンキャンパス・学校見学会で知りたかったこと
(進学者のうち進学先校オープンキャンパス・学校見学会参加者/複数回答)



■進学先校 オープンキャンパス・学校見学会のよかったところ
(進学者のうち進学先校オープンキャンパス・学校見学会参加者/複数回答)

